



★新しいスタート★



新しい学年になり2週間が経ちました。皆さんはようやくクラスの雰囲気にも慣れはじめ、学級内では騒がしい人たちがちらほらと出てきはじめてくる頃ではないかと思ひます。まずは、学級の雰囲気を大事にし、みんなが過ごしやすい環境や学習しやすい環境をリーダーを中心につくって欲しいと思います。学校の基盤はそれぞれの学級です。全ての学級がよい方向に向いていければ、三股中学校はもっと地域の方々から信頼され、誇りをもてる学校になっていくことは間違いないと思ひます。全校生徒で取り組みましょう。

さて、今年度の生徒指導のテーマとして「一燈照隅(いっとうしょうぐう)」を掲げました。集会の場でも話しましたが、意味としては「はじめは一隅を照らすような小さな灯火でも、その灯火が十、百、万と増えれば、国中を明るく照らすことができる。一人一人が自分が置かれている環境で精一杯努力することが、組織全体にとって最も重要である。」となります。全校生徒868名が一つのことをやり遂げようとしたときには相当大きな力となっていくまします。学級、学年、学校を皆さんの小さな力で大きな力と変えていきましょう。コロナ禍もなかなか落ち着かない現状ですが、今の現状でできる最高のパフォーマンスを全員で取り組んでいきましょう。昨年度以上に高い目標を持ち、みんなの力を発揮して下さい。「チーム三股」で「ONE TEAM」となり「三股魂」をもって目標に向かって進みましょう!!

限界はある。でも到達するとその先が見えてくる

平野歩夢 (スノーボード)



北京オリンピック男子ハーフパイプで金メダルを獲得した平野歩夢。決勝で、オリンピック史上初めて「トリプルコーク1440(4回転のうち3回が斜め縦軸の回転で、横にも1回転するトリック)」を成功させた。“人類史上最高難度”とも言われた演技構成で、ハーフパイプ界の新たな時代を切り開いた。「『何かとかけ離れたもの』が好きで、それがオリジナルな道につながると思っている。基本的に人が考えないこととか、やらないようなことにこだわりたい気持ち強い」偉業を成し遂げた男が歩んできた道のりは、まさにオリジナルの連続だった。2014年、冬のオリンピックで日本史上最年少となる15歳でのメダル獲得。

前回、ピョンチャン大会では初めて「ダブルコーク1440(=軸を斜めに縦2回転、横4回転)」の連続技に成功。夏の東京オリンピックでスケートボードとの二刀流に挑戦。北京大会では前人未到「トリプルコーク1440」の成功と数々の功績を残してきた。だが、その裏には人知れずみずからと闘う姿があった。「何か挑むのってすごい勇気があるし、正解がないこともある。不安は常に頭の中にあっただ」特に北京大会への挑戦は、自身でも「今まででいちばん苦しかった」と振り返る険しさだった。夏の東京大会まではスケートボードに専念。しかし、オリンピックのあと冬の北京まで残された時間はわずか半年しかなかった。日本代表スタッフが「さすがに間に合わないかもしれない」と思うほどだった。それでも、こうした逆境すら力に変えるのが平野だった。これまでも前代未聞の挑戦や難しい技に立ち向かってきたからこそ、難局の乗り越え方を知っていた。「いろいろなチャレンジをしてきたなかで、現実的に“限界”はあると思っている。でもその“限界”を常に見続けることによって、その先が見えてくることもある。厳しい挑戦というのは、最初は“重り”になることもあるが、その重さを感じなくなるところまでいくと、自分の成長とともに“ワクワク感”みたいなものが生まれることがある。本気でやっているとなんかそういうこともある」平野は不安や焦りと闘いながらも自ら「異常」と表現した猛練習でトリプルコークを習得し、最高峰の舞台上で完璧に決めた。周囲から厳しいと言われていた半年間の挑戦を走り抜き“限界”の先に到達した。「(オリンピックに向けて)みんなは4年前からスタート。僕は半年前からようやくスタート。なかなか思いどおりにいかないような日々が続いていたが、そういう日々を乗り越えていくうちに精神的にもメンタル的にも強化されたのかな。この経験のおかげでより成長できたと感じている」ひとつのチャレンジを終えて充実感をにじませた。ただ、これがゴールではないとはっきり言った。平野はみずからの哲学が詰まった言葉でこれからを語った。「ここから自分の新たな道がゼロからスタートする。これからは自分らしく、ほかの人がチャレンジしていないことをチャレンジし続けていきたい。その根本は変えたくない」(2022年4月8日 公開)

<公衆電話の使用について>

- 1 使用してよい時間帯
 - ・ 昼休み
 - ・ 放課後
 - ・ 緊急時
 - ・ 朝の登校後はなるべく使用を避ける
- 2 その他注意すること
 - (1) 順番を守る等といった常識のルールを守る
 - (2) 使用後は、速やかに場所を離れる。購買部前なのでたまらない。必要な時以外は行かない。

※ 昼休みは、野球場のバックネット裏、ソフトボール場のバックネット裏、部室棟周辺では遊ばない。